

報道機関各位

青森県農林水産部総合販売戦略課長
(公 印 省 略)

令和 3 年度の学校給食における県産食材利用状況調査の結果について

県では、学校給食における地産地消の状況を把握し、県産食材の利用促進に資するため、学校給食における県産食材利用状況調査を行っています。

この度、令和 3 年度の結果を取りまとめたのでお知らせします。

記

1 目 的

学校給食における県産食材の利用状況について把握し、利用促進に資する。

2 調査結果の概要（詳細は別添資料をご覧ください。）

（1）県産食材利用率

令和 3 年度の県産食材利用率は、重量ベースでは 65.8% で、前年度に比べて 0.4 ポイント減少し、金額ベースでは 53.8% で、前年度と同水準であった。

（2）食品群別の県産食材利用率（重量ベース）

利用率の高い順に整理すると、

- ・「主食・牛乳」は 97.9% で、前年度に比べて 0.1 ポイント増加
- ・「果実」は 48.6% で、0.7 ポイント減少
- ・「畜産物」は 32.8% で、0.2 ポイント増加
- ・「いも類・野菜」は 29.9% で、0.2 ポイント増加
- ・「豆類」は 28.6% で、2.5 ポイント減少
- ・「水産物」は 14.9% で、2.4 ポイント減少

した。

「主食・牛乳」、「畜産物」、「いも類・野菜」が前年度と同水準となった一方で、

- ・「豆類」は、豆腐の価格や栄養面が考慮され、県外産にシフトしたこと
- ・「水産物」は、ほたてやほたて加工品の価格が高騰し、利用頻度が減少したこと
- ・「果実」は、コロナ禍による臨時休校等の措置に対応するため、りんごなどがジュースやゼリー等の加工品に置き換えられたこと

が、減少の要因と考えられる。

(3) 地域別の県産食材利用率（重量ベース）

三八地域が68.3%と最も高く、次いで中南地域が66.0%、西北地域が65.7%、上北地域が65.4%、東青地域が64.2%、下北地域が62.4%の順となった。

<参考>調査方法

- (1) 対象期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日
- (2) 調査対象 県内における完全給食及び補食給食実施校の全小・中学校400校（回答397校）
- (3) 調査内容 給食で使用した食材の市町村産、県産、国産、その他（不明・輸入）の利用量及び購入金額



報道機関提供資料	
担当課	農林水産部 総合販売戦略課
担当者	地産地消グループ GM 原 昌志
電話番号	直通 017-734-9572 内線 5016
報道監	農林水産部 次長（農商工連携推進監）成田 澄人 内線 4967

令和3年度の学校給食における県産食材利用状況調査の結果

1 県産食材利用率等の年次推移（表-1、図-1）

令和3年度の県産食材利用率は、重量ベースでは65.8%で、前年度に比べて0.4ポイント減少し、金額ベースでは53.8%で、前年度と同水準であった。

表-1 食材利用率の推移

(単位：%)

年度		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
県産食材 利用率	重量ベース	62.1	61.0	62.1	62.1	63.9	64.5	64.9	64.3	65.9	66.5	66.2	66.8	66.6	66.5	66.2	65.8
	金額ベース	47.5	47.3	47.0	47.7	50.1	50.1	52.1	51.8	53.4	54.1	53.7	54.6	55.3	54.8	53.8	53.8
地元市町村産食材 利用率	重量ベース	14.8	12.1	12.8	13.3	11.2	12.4	12.8	11.6	12.9	12.5	12.8	12.5	12.6	12.9	13.1	12.6
	金額ベース	12.5	12.8	12.2	12.8	11.4	12.2	13.9	12.5	12.3	11.4	13.0	14.1	14.8	15.0	15.1	14.5
国産食材 利用率	重量ベース	85.2	85.7	87.0	87.9	89.4	89.5	90.0	90.3	90.8	91.6	92.3	92.3	92.4	92.7	92.4	92.3
	金額ベース	76.8	78.9	81.0	81.2	84.6	82.9	84.2	84.8	85.2	86.3	87.6	87.8	88.2	88.4	87.6	87.6

注) 平成22年度より、その他調味料を除く値であることから、単純比較はできない。

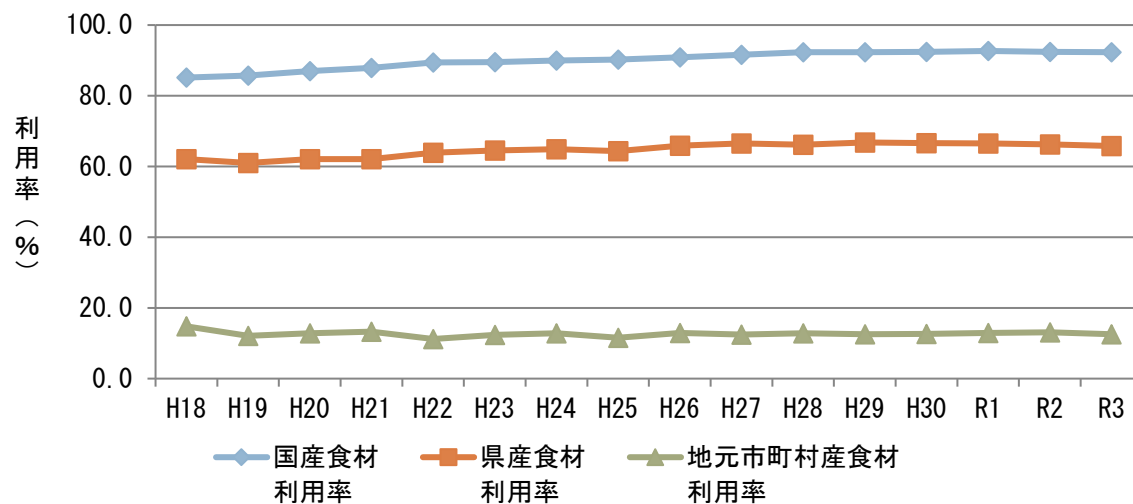


図-1 全食材における食材利用率の年次推移（重量ベース）

2 食品群別の県産食材利用率（表－2、図－2）

利用率の高い順に整理すると、

- ・「主食・牛乳」は97.9%で、前年度に比べて0.1ポイント増加
- ・「果実」は48.6%で、0.7ポイント減少
- ・「畜産物」は32.8%で、0.2ポイント増加
- ・「いも類・野菜」は29.9%で、0.2ポイント増加
- ・「豆類」は28.6%で、2.5ポイント減少
- ・「水産物」は14.9%で、2.4ポイント減少

した。

「主食・牛乳」、「畜産物」、「いも類・野菜」が前年度と同水準となった一方で、

- ・「豆類」は、豆腐の価格や栄養面が考慮され、県外産にシフトしたこと
- ・「水産物」は、ほたてやほたて加工品の価格が高騰し、利用頻度が減少したこと
- ・「果実」は、コロナ禍による臨時休校等の措置に対応するため、りんごなどがジュースやゼリー等の加工品に置き換えられたこと

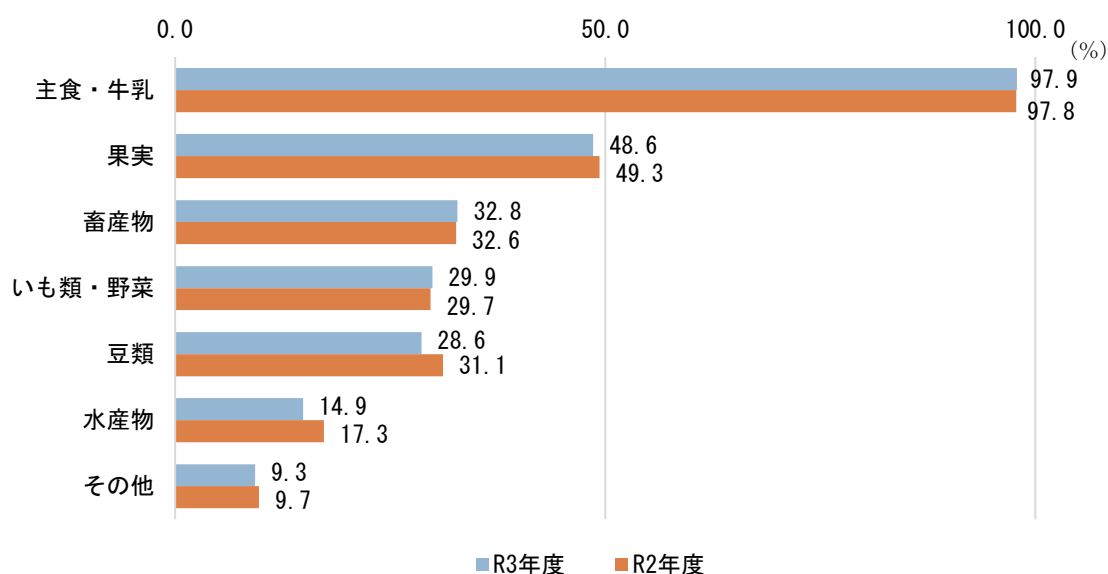
が、減少の要因と考えられる。

表－2 食品群別の県産食材利用率

（単位：％）

食品群	重量ベース						金額ベース					
	県産			市町村産			県産			市町村産		
	R3	R2	R3-R2 差	R3	R2	R3-R2 差	R3	R2	R3-R2 差	R3	R2	R3-R2 差
主食・牛乳	97.9	97.8	0.1	19.3	19.8	-0.5	97.5	97.3	0.2	31.3	32.5	-1.2
果実	48.6	49.3	-0.7	17.6	18.3	-0.7	49.2	49.8	-0.6	16.6	16.4	0.2
畜産物	32.8	32.6	0.2	1.2	1.4	-0.2	33.2	33.0	0.2	1.0	1.3	-0.3
いも類・野菜	29.9	29.7	0.2	5.8	6.2	-0.4	26.2	28.7	-2.5	5.4	6.0	-0.6
豆類	28.6	31.1	-2.5	5.6	6.7	-1.1	23.6	25.0	-1.4	4.3	5.0	-0.7
水産物	14.9	17.3	-2.4	3.1	2.9	0.2	15.3	13.4	1.9	2.8	2.5	0.3
その他	9.3	9.7	-0.4	1.1	1.2	-0.1	10.4	10.3	0.1	1.8	1.5	0.3

注) ①各食品群には、1次産品の他に加工品も含む。②R3-R2差はラウンドのため一致しない。



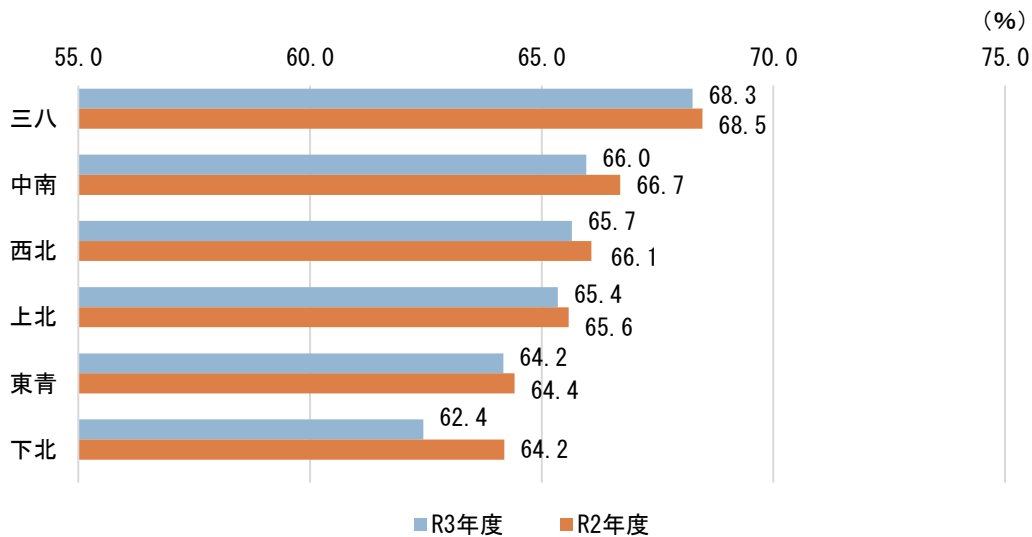
図－2 食品群別県産食材利用率（重量ベース）

3 地域別の県産食材利用率（表－3、図－3）

三八地域が68.3%と最も高く、次いで中南地域が66.0%、西北地域が65.7%、上北地域が65.4%、東青地域が64.2%、下北地域が62.4%の順となった。

表－3 地域別の県産食材利用率 (単位：%)

区分		東青		中南		三八		西北		上北		下北	
		R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2
県産食材 利用率	重量ベース	64.2	64.4	66.0	66.7	68.3	68.5	65.7	66.1	65.4	65.6	62.4	64.2
	金額ベース	55.4	55.0	49.0	50.6	58.8	58.8	49.0	49.7	53.9	52.7	49.2	50.9
市町村産食材 利用率	重量ベース	10.9	11.5	15.9	15.8	12.4	13.1	13.1	12.5	12.5	12.8	7.6	11.4
	金額ベース	18.0	18.4	11.4	11.7	19.1	19.9	9.6	9.5	11.5	12.3	8.0	13.1



図－3 地域別県産食材利用率（重量ベース）

<参考> 令和3年度県産食材の利用拡大に向けた県の取組

(1) 学校給食用野菜安定供給会議の実施

価格が変動しやすい野菜の安定供給や、県産利用率の向上を図るため、生産者、加工業者、流通業者、栄養教諭等により、冷凍カット野菜等の供給拡大について検討

・期日：令和4年3月23日

・内容：県産の冷凍野菜（アスパラガス、枝豆、メロン）の学校給食への納入に向けた試食及びアンケート調査

アンケート対象：県学校栄養士協議会員 12名

【成果】

令和4年の秋の献立として五所川原市学校給食センターが、冷凍ブロッコリーを採用

・ブロッコリーの産地：五所川原市

・加工事業者：木村食品工業（平川市）

・供給量：110kg（製品）

(2) 栄養教諭等向け現地研修会の実施

地場野菜等への理解を深め地産地消意識を醸成するため、栄養教諭等を対象とした農業生産現場や加工場での視察研修を実施

・期日：令和3年8月17日

・場所：青森市浪岡

・内容：地元野菜の収穫体験及び野菜ソムリエによるレシピ伝授

(3) 県産食材の加工品の栄養教諭等へのPR

学校給食関係流通業者と連携し、栄養教諭等を対象に県産食材を利用した加工品の試食・展示会を開催

・期日：令和4年1月7日

・場所：青森市

・内容：新型コロナウイルス感染症対策のため、試食・展示は実施せず、県産食材を使用した加工品の資料を提供した。

(4) 県産食材を利用した調理講習会の開催

栄養教諭を対象とした調理講習会において県産食材を利用した給食メニュー提案を行い、献立に取り入れてもらえるよう働きかけ

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症に係る対応のため開催中止